

JICA 海外協力隊フェア 東海4県出身 隊員27名の帰国報告

2年間、日本とは異なる環境で活動した経験を報告いたします。

開発途上国の経済と社会の発展に貢献するため、国際協力機構（JICA）は現在、2,145人のJICA海外協力隊を80か国の開発途上国へ派遣しています。

このたび、2019年2月から2019年7月に帰国した東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）ゆかりのJICA海外協力隊員27名が、JICA中部にて2年間の活動報告を行います。

当日は、帰国隊員は各々民族衣装を纏い、報告を聞きに来られる一般市民、企業、NGO等200人以上の方で賑わいます。開発途上国で得た様々な経験を、今後、日本で活かしていく彼ら／彼女らの取材を是非ご検討ください。

<概要>

日時：2019年9月1日（日曜）11:30～16:30

場所：JICA 中部 2階

名古屋市平池町 4-60-7

10時30分：受付開始（プログラムを配布します）

11時ごろ、隊員にインタビューできます

11時30分：開会（隊員全員が揃って登場。撮影チャンスです。）



<隊員活動国(22か国)>

インドネシア、ベトナム、スリランカ、モルディブ、サモア、マーシャル、パラオ、ヨルダン、エジプト、ザンビア、タンザニア、ベナン、ナミビア、エチオピア、ケニア、ウガンダ、マダガスカル、アルゼンチン、エクアドル、ブラジル、コロンビア、ジャマイカ

<隊員職種（17職種）>

コミュニティ開発、小学校教育、日本語教育、日系日本語学校教師、環境教育、体育、青少年活動、経営管理、陸上競技、野球、コミュニティ開発、高齢者介護、PCインストラクター、廃棄物処理、理科教育、品質管理・生産性向上、土木



活動報告より抜粋：

- ・ナショナルチームに指導、ミクロネシアゲームに同行参加しました（パラオ・陸上競技）
- ・教え子が日本に興味を持ってくれ、「日本青年の船」に参加（タンザニア・PC）
- ・経営アドバイザーとして 250 社と面談、ものづくり・カイゼンなどセミナーを 20 回開催（ザンビア・経営）
- ・小中学校で手洗いや排せつ、ごみ捨てに関する啓発。学校対抗清掃コンクールを企画しました（ベナン・コミュニティ開発）
- ・離任前には現地教員が私なしでも立派に授業をした（モルディブ・小学校教育）
- ・女性のグループに栄養改善のための料理講習をしました（マダガスカル・コミュニティ開発）
- ・保護観察処分の判決が下された少年更正プログラムを実施。困難を乗り越え、自立更正して出所していく姿を何度も見た（ケニア・青少年活動）
- ・日系移住地 51 か所で介護予防講座を開催、簡単にできる体操なども紹介（ブラジル・高齢者介護）



【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 連携推進課 熊野、榎田

TEL 052-533-0120 e-mail : cbictpd@jica.go.jp